



特定非営利活動法人

日本ハーブ振興協会

認定資格

『Professional Adviser of Herb』

PAH 資格取得のためのガイドライン

NPO 法人日本ハーブ振興協会(NPO-NHA)は、その目的を実現するための活動の一つとして、ハーブの正しい普及を担う人々の育成やその人々を育成する機関、システムなどの普及をめざしています。

『Professional Adviser of Herb〔PAH〕』は、ハーブを自分自身で使うときや、家族や周りの人たちに楽しんでもらうときに、より安全に正しい情報を伝えられ、知識や使い方などを適切にアドバイスできると認められる方に与えられる資格です。

ハーブの普及などのために、アドバイザーとしての役割を担えると期待されます。

このガイドラインは、PAHを目指す方々、あるいはそれらを育成されようとされる方々のために、NPO 法人日本ハーブ振興協会が考える、PAH として必要な知識、情報の範囲・枠組みを示すものであります。

PAH 認定資格は、どなたでも受験していただけます。

1、ハーブ各論〔25種類〕

各ハーブの使われる部分（その基礎知識として、植物としての概括的分類の仕方）、特性、使われ方、注意すべき事項についての情報を最低必要とします。

エルダー	オレンジ	ジャーマン・カモミール
スペアミント	セージ	ダンディライオン
ネトル	ハイビスカス	パッションフラワー
フェンネル	ペパーミント	マージョラム
マリーゴールド	マロウ	ユーカリ
ラズベリー	ラベンダー	リンデン
レモングラス	レモンバーベナ	レモンバーム
ローズ	ローズヒップ	ローズマリー
ワイルドストロベリー		

これらのハーブは、現在日本において使用頻度が多く、一般性が高いものを選び選定いたしました。ただし、状況の変化などで、25種類の内容、数において将来において変更がある場合もあります。その場合は、ホームページなどでお知らせいたします。

2、ハーブの概略的な歴史

ハーブの歩んできた歴史が、概略的に理解されること。とくに、ハーブと人間との関わりが、いつ頃から始まり、欧米を中心にどのような経緯をたどって現在に至っているのか、概略的につかめていること。

3、ハーブが活用されているフィールド

ドライハーブ、フレッシュハーブ、エッセンシャルオイルの使われているフィールドなどが認識されることが必要とされます。

ハーブティー、沐浴、パック、ゴマージュ、軟膏、クリーム、湿布、パップ、ルームスプレー、バスハーブ、バスソルト、ハーブソープ、スキンケアローション、フェイスミスト、フェイシャルスチーム、ボディパウダー、ポプリ、チンキ、など

4、代表的な使われ方の知識

A、ハーブティーについて

選定されている 25 種類のハーブを中心に、

i) シングルハーブティー

基本的な入れ方、味についての特徴、注意すべき事項など
についての知識、情報

) ブレンドハーブティー

ブレンドの作り方の考え方、ブレンドする場合の味などの
変化、注意すべき事項などについての知識、情報などが把握
されていること。

B、エッセンシャルオイルについて

選定されている 25 種類のハーブの中でエッセンシャルオイルと
して一般的なものについて、どのような作られ方をしている

のか、その特性、使い方、使う場合の注意すべき事項などについて、
知識、情報が把握されていること。

5、ハーブの取り扱いについての知識

ハーブの種類やグレードについて把握されていること。

法律などについて

ハーブを取り扱う場合に関係する法律や規制について、どのような
ものがあるかが把握されていること。

安全性について

安全に取り扱うために注意すべきこと、また、保存方法や使用
期限の考え方なども把握されていること。

6、ハーブを使う場合あるいは応用する場合の知識

日常的に使われる場合の基材の名称と使われ方の基礎的知識などに
ついて把握されていること。

応用して使う場合の使われるフィールド(例として 3、ハーブが使
われるフィールドでとりあげたもの)の名称や作り方、使い方、また、
使う場合の注意すべき事項などについて把握されていること。